

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(/ /)
授業科目名：心理学入門 英語表記：Introduction to Psychology ナンバリング：1005		単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：山田耕平 担当形態：単独
科目/系列	/		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 心理学の基礎知識を身につけることができる。 2. 心理学の基本的な諸概念を理解できる。 3. 心理学の視点から、人間の行動を理解し説明することができる。			
【授業の概要】 心理学の基本的な知識を学び、保育の現場で活用な思考・方法を身につける。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			○
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】 第1回：オリエンテーション、心理学とは何か（概説） 第2回：様々な心理学① 第3回：様々な心理学② 第4回：様々な心理学③ 第5回：様々な心理学④ 第6回：復習・ディスカッション 第7回：発達① 第8回：発達② 第9回：発達③ 第10回：復習・ディスカッション 第11回：心理学の活用① 第12回：心理学の活用② 第13回：心理学の活用③ 第14回：復習・ディスカッション 第15回：まとめ 定期試験：筆記試験		【授業時間外の学習】 ・毎回の講義を必ず復習し、学びや気づきを整理すること。（毎回1時間程度） ・講義内で学習した知識について、実生活で検証を行うこと。	
【授業の方法】 講義、ディスカッション。 Google Classroomを用いて、授業感想や質問に対するフィードバックを行う。			

【テキスト】 指定なし。適宜プリントを配布する。	
【参考書・参考資料等】 ・『セラピストのための子どもの発達ガイドブック:0歳から12歳まで 年齢別の理解と心理的アプローチ』（著）Dee C.Ray（訳）小川裕美子，湯野貴子，子どものプレイセラピー研究会 ・『心理学・入門』サトウタツヤ・渡邊芳之 有斐閣アルマ	
【学生に対する評価】 授業参画度（50%）、定期試験（50%）。 ルーブリックを活用し、総合的に評価する。	
【履修上の注意】 受講にあたっては、配布物や参考書文献等を用いて事前事後の学習を行うこと。	
実務経験の有無：有	実務経験：臨床心理士・公認心理師・精神科クリニック・生活困窮者支援 ・学生相談・幼稚園巡回相談 等
【実務経験を生かした教育内容】 切り口の異なる多様な現場での実践経験を活かし、実践的な知識を含む授業を行う。	